



幕 監 査 第 35 号

令和 8 年 8 月 21 日

幕別町長 飯 田 晴 義 様

幕別町監査委員 八重柏 新 治



幕別町監査委員 藤 谷 謹 至



令和 7 年度幕別町基金の運用状況審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第5項の規定により審査に付された令和7年度幕別町基金運用状況について審査しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

令和7年度幕別町基金の運用状況審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

幕別町各基金の運用状況

2 審査の期間

令和8年7月13日から令和8年8月17日まで

3 審査の手続

審査に付された各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性、基金運用状況の妥当性の検証を主眼とし、関係帳簿及び関係書類との照合等その他通常実施すべき審査手続を幕別町監査基準に準拠し実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果誤りのないものと認められ、また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

当年度の運用の状況は次のとおりである。

区 分		令和 6 年度末 現 在 高	令和 7 年度中		令和 7 年度末 現 在 高
			積 立 額	取 崩 額	
積立 基金	財政調整基金	1,364,000,000	352,000,000	400,000,000	1,316,000,000
	減債基金	378,030,000	77,393,000	200,000,000	255,423,000
	まちづくり基金	1,058,584,841	154,381,949	449,353,000	763,613,790
	企業版ふるさと納税基金	990,000	1,203	990,000	1,203
	森林環境譲与税基金	99,783,664	45,562,245	93,001,009	52,344,900
	新型コロナウイルス感染症 関連無利子融資円滑化基金	41,287,400	0	41,287,400	0
	一 般 会 計 計	2,942,675,905	629,338,397	1,184,631,409	2,387,382,893
	国民健康保険基金	103,437,515	8,641,687	79,966,000	32,113,202
	介護給付費準備基金	202,225,249	90,460,675	66,000,000	226,685,924
	農業集落排水事業償還基金	8,172,718	54,001	855,506	7,371,213
	積 立 基 金 計	3,256,511,387	728,494,760	1,331,452,915	2,653,553,232
定額運 用基金	土地開発基金	535,835,092	1,797,804	0	537,632,896
	現 金	378,266,916	1,797,804	0	380,064,720
	土 地	157,568,176	0	0	157,568,176
	定額運用基金 計	535,835,092	1,797,804	0	537,632,896
合計	現 金	3,634,778,303	730,292,564	1,331,452,915	3,033,617,952
	土 地	157,568,176	0	0	157,568,176

(注) 決算年度末現在高は、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額443,873,783円を除く。

財政調整基金は、前年度末に比し48,000,000円（3.5%）減少している。これは、352,000,000円の積み立てに対し、400,000,000円の取り崩しがあったことによる。

減債基金は、前年度末に比し122,607,000円（32.4%）減少している。これは、77,393,000円の積み立てに対し、200,000,000円の取り崩しがあったことによる。

まちづくり基金は、前年度末に比し294,971,051円（27.9%）減少している。これは、154,381,949円の積み立てに対し、449,353,000円の取り崩しがあったことによる。

企業版ふるさと納税基金は、前年度末に比し988,797円（99.9%）減少している。これは、1,203円の積み立てに対し、990,000円の取り崩しがあったことによる。

森林環境譲与税基金は、前年度末に比し47,438,764円（47.5%）減少している。これは、45,562,245円の積み立てに対し、93,001,009円の取り崩しがあったことによる。

新型コロナウイルス感染症関連無利子融資円滑化基金は、前年度末に比し41,287,400円（100.0%）減少している。これは、積み立てがなかったことに対し、41,287,400円の取り崩しがあったことによる。

国民健康保険基金は、前年度末に比し71,324,313円（69.0%）減少している。これは、8,641,687円の積み立てに対し、79,966,000円の取り崩しがあったことによる。

介護給付費準備基金は、前年度末に比し24,460,675円（12.1%）増加している。これは、90,460,675円の積み立てに対し、66,000,000円の取り崩しがあったことによる。

農業集落排水事業償還基金は、前年度末に比し801,505円（9.8%）減少している。これは、54,001円の積み立てに対し、855,506円の取り崩しがあったことによる。

土地開発基金は、前年度末に比して1,797,804円（0.34%）増加している。これは、現金で1,797,804円の積み立てがあった一方、取り崩しがなく、土地では積み立ても取り崩しもなかったことによる。

む す び

一般会計の令和7年度末の基金残高は2,387,383千円で、前年度末に比して555,293千円（18.9%）減少している。これは629,338千円積み立てられた一方、1,184,631千円の取り崩しがあったためである。

一般会計と特別会計を合わせた当年度決算剰余金で、443,874千円が基金に繰り入れられることになったことは、厳しい財政状況の中であって努力の跡が伺え一定の評価ができる。今後も歳入の確保と経費の節減に努め、基金残高の充実に努められたい。